



谷口 和弥 議員
(拓政会)



問 北海道教育委員会は6月2日、令和3～5年度の「公立高等学校配置計画案」を発表した。計画案によると十勝学区内においては、欠員数の多い高校や1学年1学級となった高校などが、再編整備や定員調整の対象とされていくとされている。

幕別町内には今年度で歴史を閉じる道立幕別高校と私立江陵高校、新設校として2年目の道立幕別清陵高校の3校が存在する。幕別清陵高校が新設された経過を鑑みるに、幕別町・幕別町教育委員会が各高校の課題に対してしっかりと向き合う責務があると考ええる。

については以下の点を伺う。
(1)幕別清陵高校が新設初年度から2年連続で定員割れしている現状の認識は。

(2)幕別清陵高校への「魅力ある高校づくり支援事業補助金」は有効な支援策か。

(3)幕別高校と江陵高校の果たしてきた役割を幕別町史にしっかりと刻むべき。

問 幕別清陵高校が一層魅力ある学校となるため
の支援を

答 今後においても可能な限りの支援を行い
たい

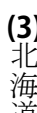


教育長 (1)幕別清陵高校の入学状況は、定員120名のところ平成31年度入学者は102名、令和2年度は96名となったが、当初出願状況では、31年度は118人で倍率1・0倍、令和2年度は171人で倍率1・4倍となり、十勝管内では最も高い倍率であった。

入学者数に結びつかない要因の一つに、私立高校の授業料無償化により、経済的な負担の面で公立と私立の差が縮まっていることも影響していると考えられている。

(2)大会遠征費用の保護者負担軽減等のための部活動振興補助、3年間の学習状況の記録や部活動などの記録を行う学習支援システム導入補助、学校行事等の教育活動へのバス運行経費の補助、広報・宣伝活動や各種行事、体験活動等への補助を実施している。

本年度からは、介護職員初任者研修に要する費用の補助を追加し、有効に活用されていると認識している。今後においても、可能な限りの支援を行いたい。



(3)北海道幕別高等学校は、インターシップの実施など進路教育に力を入れたほか、地域と連携した学習の充実を図ってこられた。

多田学園江陵高等学校は、管内唯一の福祉コースを開設し、高齢社会のニーズに対応した人材育成など先進的な役割を果たしてこられた。

問 「新型コロナウイルス関連情報」
を迅速に発信せよ

答 様々な情報を迅速かつ正確
に届けるよう努める



幕別町が町民に対し、国や道からの要請や生活支援の情報、ホームページやSNS、広報紙等の媒体を通じて迅速に提供することは重要である。

特に迅速さの点でホームページやSNSの果たす役割は大きい。



幕別清陵高校
ICTを活用した授業

「新型コロナウイルス関連情報」を迅速に発信する上で配慮していることは何か伺う。



町長 北海道から事前の情報提供がなく記者発表で初めて知られる事項もあり、町の対策本部会議が当日のうちに開催できない場合や、対策等の内容によっては、情報の整理等実施する上で準備が必要で、即時の情報発信とならない場合もある。

発信した情報は、ホームページではトップページに大きくバナーを設け、主要なカテゴリを配置し検索性を高めている。

今後も、町民の皆さんに対して、新型コロナウイルス関連情報のみならず、住民の安心、安全に関わる様々な情報を、迅速かつ正確に届けるよう努める。